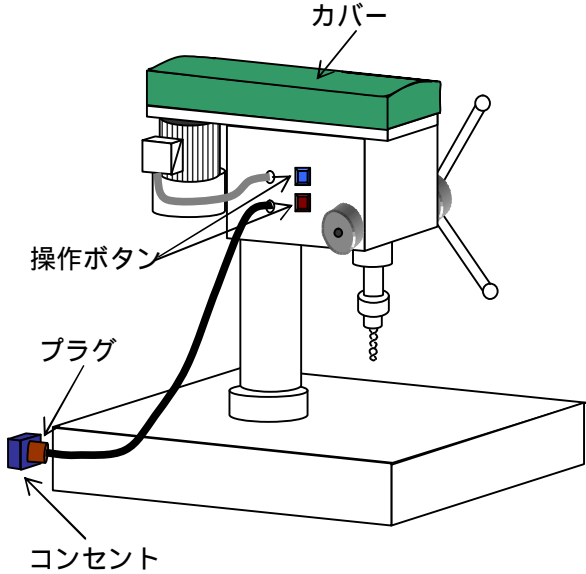
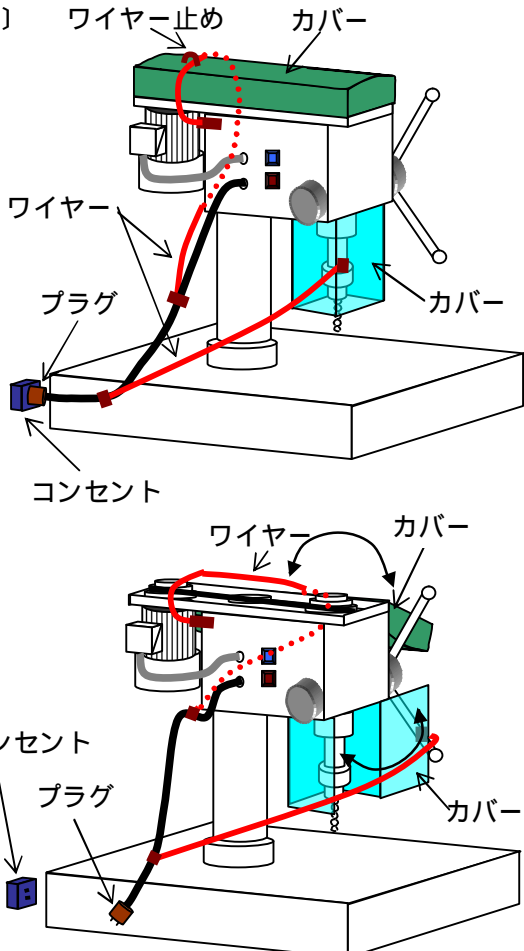


タイトル	ボール盤の速度変更、ドリル刃交換作業	区分	- C -
		No.	16
従来のシステム			
<p>〔図〕</p>  <p>カバー</p> <p>操作ボタン</p> <p>プラグ</p> <p>コンセント</p>	<p>〔作動状況説明〕</p> <p>ボール盤の速度変更あるいはドリル刃の交換作業時には、動力源を遮断するためプラグを抜いてから作業にかかることを標準書で義務づけている。</p>		
<p>〔危険要因、問題点〕</p> <p>プラグを抜かずに速度変更あるいはドリル刃の交換作業を行っている時、誤って操作ボタンに触れると起動し、巻き込まれあるいは挟まれる可能性がある。</p>	<p>〔事故事例〕</p> <p>なし</p>		

タイトル	ボール盤の速度変更、ドリル刃交換作業	区分 - C -	No . 16
「安全確認型」システム			
〔安全の保証条件、保証の仕方〕 ボール盤の速度変更あるいはドリル刃の交換作業時に動力源の遮断を保证するため、プラグを抜かないとカバーを開くことができないし、カバーを閉じないとプラグをコンセントに差し込めないようにする。			
〔方式・手段〕 カバーを閉状態でロックするワイヤーと電源ケーブルを結ぶことでカバーの開閉とプラグの抜き差しが連動するようにする。			
〔図〕 	〔安全対策の説明〕 1. ドリル刃交換部に蓋付きのカバーを設置する。 2. 速度変更部のカバー及びドリル刃交換部のカバーと電源コードを左図のようなワイヤーで結合する。 注1) 速度変更部のカバーあるいはドリル刃交換部のカバーいずれかを開く時には必ずプラグが抜けるようにワイヤーの取り付け位置を選定する。 注2) 速度変更部のカバーに使用されるワイヤーはカバーから外れた状態で使用されないように止め金具でカバーに固定しておく		
〔残存リスク〕 1. むき出しのドリル刃に接触することで怪我をする可能性がある。 〔対策〕回転部に制御式ガード又は調節式ガードを設置する。	制御式ガード 